

公開特許公報

昭52—155270

⑮Int. Cl².
B 32 B 5/16
D 06 C 23/00
D 06 Q 1/00

識別記号

⑯日本分類
47 A 35
47 A 303
47 D 0

庁内整理番号
6636—35
6636—35
7425—35

⑰公開 昭和52年(1977)12月23日
発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

⑯熱反転式植毛生地

坂出市寿町三丁目 2 の 21

⑰特 願 昭52—78682
⑰出 願 昭48(1973)2月9日
特 願 昭48—16908の分割
⑰發明者 佐竹勝之

⑰發明者 音峰一男
高松市三条町533
⑰出願人 三英ケミカル株式会社
高松市三条町533番地
⑰代理人 弁理士 木下憲男 外1名

明細書

1. 発明の名称

熱反転式植毛生地

2. 特許請求の範囲

剥離用母生地 1 に仮接着層 2 を設け、更に短纖維の植毛繊維 3 を仮接着層 2 に仮着させ植毛層 8 を形成し、該植毛層 8 の植毛繊維 3 上を仮接着層 2 よりも強力なる接着剤にて形成した接着層 4 に植毛させ、且つ粉末又はペレット状のホットメルト接着剤 5 を接着層 4 に散布し固着させたものである。

よつて、第5図に示す如く、転写布 6 と固着した、ホットメルト接着剤 5 を合せ、剥離用母生地 1 の面よりアイロン 7 で熱加圧すると、転写布 6 の上に、先に仮着した短纖維の植毛繊維 3 で形成した植毛層 8 が転写されるものである。

この発明は転写に際して仮着された短纖維の植毛繊維 3 の植毛層 8 が強力な接着層 4 により剥離用母生地 1 より剥離すると共に、熱加圧によりホットメルト接着剤 5 が転写布 6 に融着することにより転写される。

而して、需要者は、任意に熱加圧のみで短纖維の植毛繊維 3 で形成した植毛層 8 の立体的模様が刺繡の様に美しく、然も加工時間も短かく(約30秒)転写し仕上げることが出来、又廉価で提供される。

3. 発明の詳細な説明

従来、布にアップリケ加工をするものとして種々あるが何れも、美感・風合を損する欠点に鑑み、この発明は熱加圧により文字や図柄を母生地より離し転写するもので仕上りの自然さと省力化を計らんとする目的である。以下その詳細を図面に就つて説明すると、第1図の如く剥離用母生地 1 の上に比較的弱い仮接着層 2 を設け、更に仮接着層 2 の上に短纖維の植毛繊維 3 を仮着(第2図)さ

よつて伸縮性を有するような転写布6への転写も容易で転写布6の伸縮に際しては植毛織維3間の間隙が適宜調節され植毛織維3の脱落が防止され長期に亘り美麗に保持されるものである。

又植毛織維3で形成した植毛層8を設けた刺繡用生地1の切抜きも容易であり、需要者の好みに応じた面白い模様を形成できるものである。

又構造が簡単で大量生産に適し安価に提供できるものである等幾多の産業的效果を奏するものである。

4 図面の簡単な説明

第1図は仮接着層を設けた上面図、第2図は植毛層を設けた上面図、第3図は接着層を設けた上面図、第4図はホットメルト接着剤を固着した上面図、第5図は転写説明図、第6図は要部の断面図である。

尚 1 ... 刺繡用母生地、2 ... 仮接着層、3 ... 植毛織維、4 ... 接着層、5 ... ホットメルト接着剤、6 ... 転写布、7 ... アイロン、8 ... 植毛層。

